



「プラごみ問題」 その9

今回は、「食品トレイのリサイクル」のお話です。
広くスーパーマーケットなどで回収されていて、再び食品トレイに戻す「水平リサイクル」が最近特に進んでいます。
ひと昔前は白色のものしか回収されなかったのですが、近年はリサイクル工場で選別できるようになったり、色を取り除く技術が登場したりと、色柄付きでも回収されています。
また、お弁当などに使われている硬いトレイについても、技術的には水平リサイクルが可能なので、将来はすべての食品トレイが店頭回収されるようになるかもしれません。
ただし、油污れなど汚れが著しいものやシール、ラップがついたままでは回収できませんので注意しましょう。

【ここに注目!】

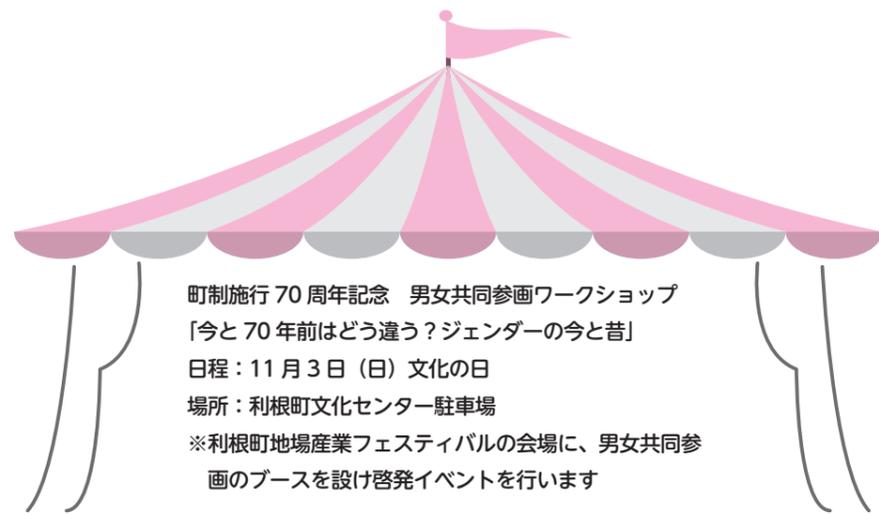
- リサイクル前にチェック
□トレイに付いているシールやラップは外しましたか?
□汚れを水ですすぎましたか?
□洗ったトレイは、乾いていますか?
※リサイクル技術は進歩していますが、回収BOXを利用する際はルールを守って投入しましょう。

霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦が実施されました

霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦は、霞ヶ浦に流入する河川地域の市町村が一体となり、霞ヶ浦の浄化を推進しているという運動です。
町では、7月28日に、新利根川沿いの7地区 223名の住民の皆さまにご参加いただき、たくさんのごみを収集することができました。
新利根川沿いの住民の皆さまには、環境美化にご尽力いただいている一方で、心無い方の捨てたごみが点在している状況が発見されました。このような状況を改善し、今後より一層の環境美化を推進していきたいと考えています。
今後とも、町民の皆さま、お一人お一人のご協力をお願いいたします。



利根町男女共同参画啓発イベント2024開催!



町制施行70周年記念 男女共同参画ワークショップ
「今と70年前はどう違う?ジェンダーの今と昔」
日程:11月3日(日)文化の日
場所:利根町文化センター駐車場
※利根町地場産業フェスティバルの会場に、男女共同参画のブースを設け啓発イベントを行います

認知症地域支援推進員のつづやき No.74 うそそ※落ち着かないさま

「この先、不安だな…」誰もが一度は考えたことがあると思います。仕事に子育て、お金の健康、家族の介護とめじろ押し。いろいろ気になり出しては、不安をせさせと背負い込みがちです。皆さんは、背負い込んだ不安に対応するために、どのような備えをしていますか?
不安なんていう重たいものは、さっさと下ろして身軽になりたい!というわけで、不安解消のため、あれこれ考え行動してみます。はじめ勢いが良いのですが、「何がわかっていないのかが、わからない」となって立ち止まってしまうことも。不安の正体は意外と見えないものですよ。
認知症の多くは、もの忘れから始まります。誰に何を願うのかを、一人で背負い込まず、相談しておくことが重要です。そして、不安を軽減していくためにも、まずは認知症という病気を正しく理解することが、様々な備えに繋がるのです。
町では、認知症を正しく理解するきっかけづくりとして、認知症サポーター養成講座を行っています。ぜひ一度お問い合わせください。

私たちはここにいます!

- 認知症地域支援推進員配置施設
●利根町地域包括支援センター ☎68-2211 ●利根町保健福祉センター ☎68-8291
●複合福祉施設 響 ☎61-8500 ●介護老人保健施設もえぎ野 ☎84-6081

シルバー人材センターだより

利根町シルバー人材センターは、利根町に住むおおむね60歳以上の有志の方々が会員となって集まり、利根町の皆さまのご要望、お困り事に対応することを仕事としている社団法人です。会員はご自身のライフスタイルに合わせて元気に仕事に励んでおり、働くことを通じて健康維持・増進と生きがいを得ています。
また、お仕事だけでなくサークル活動も行っていて、仲間とのつながりを深めています。いつでも会員募集しておりますので、皆さんも会員になって、第2・第3の人生をスタートしませんか?

町民の皆さまとともに26年!
カラオケの会
女性の会
●お問い合わせ 利根町シルバー人材センター ☎68-7896

町は、令和7年1月に町制70周年という節目を迎えます。70年の間に時代は様変わりしましたが、先日公表されたジェンダーギャップ指数によると、日本は146カ国中118位とG7・主要7か国の中で最下位という結果となり、日本にはまだジェンダー問題が根深く残っています。
さらに、ジェンダーギャップ指数を公表している世界経済フォーラムでは、世界的に完全なジェンダー平等が達成されるのは、このままのペースだと134年後(5世代先)になる、と指摘をしています。
そこで今回のワークショップは、70年前と今の時代のジェンダーについての価値観の違いを、広告を通じて紹介し、「女だから・・・男だから・・・」という考え方を見つめなおすきっかけを作り、男女共同参画についての理解を深めていただけたら、と考えています。
ワークショップの参加者には花の苗のプレゼント(なくなり次第終了)、お子様向けワークショップの参加者にはクッキー(先着70名)や風船のプレゼントを予定しておりますので、ぜひお問い合わせの上、ご参加ください。



※上記の写真は昨年の男女共同参画ワークショップの様子です。皆さまのご参加、お待ちしております。

- お問い合わせ 政策企画課 政策企画係 ☎68-2211 (内線338)